



ホワイト

下地への密着性・耐久性アップ!

屋根用遮熱塗料

専用シーラー

油性

各種瓦・トタンなどの下塗り専用塗料

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

標準塗り面積(1回塗り)
5.2~7.0㎡ (933)
3.1~4.2枚分

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/ 2~3時間

上塗り時間の目安
夏期/ 2時間以上
冬期/ 6時間以上

注意書きをよく読んでから使用して下さい

遮熱塗料の
遮熱効果がさらに
UP!

0.7L

塗装用具は
ペイント
うすめ液
で洗って下さい。
うすめずに塗って下さい。

商品名 屋根用遮熱塗料専用シーラー(油性)
品名 合成樹脂塗料 成分 合成樹脂(シリコンアクリル樹脂)、
顔料、有機溶剤

特長 ●上塗り塗料と下地との密着性と耐久性を向上させます。
●上塗り塗料の吸い込みを防ぎ、優れたシール効果を実現します。●水性屋根用
遮熱塗料と一緒に使用することで、上塗り塗料の遮熱効果がさらにアップします。

用途 アサヒペン水性屋根用遮熱塗料の下塗り用
一般住宅、工場、倉庫、飼料タンク、鶏舎等の飼育施設などの下の用途。
●スレート瓦・各種セメント瓦・コロニアルやカラーベスト等の新生瓦。●ミニル瓦、
いび瓦、桧瓦、日本瓦、素焼き瓦には適しません。●トタン・カラートタン・銅板の
屋根。●コンクリート・モルタル面や各種サイディング。
絶えず水がかかったり水につかるところや、いつも湿っているところには適しません。

塗装方法 ①●はがれがかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ
等を使用して充分に取り除きます。●ひび割れや穴などは、あらかじめセメントやコーキング
材などで補修しておきます。●塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアタ・カビなどを
とり、水洗いしてから充分に乾かします。●油分はペイントうすめ液で拭いて落とす。充分
に乾かします。②●塗料がついて困る場所は、あらかじめ新聞紙やマスキングテープ
などでおおいます。③●塗膜のフクレ・ハガレ防止のため右の下地処理の注意に従って下
地処理を行います。④●フタを開ける前に容器ごと振り動かして中の塗料を充分にまぜま
す。⑤●うすめずにそのまま塗ります。●コーナーや塗りにくいところは先にうすめ液
で塗っておきます。●広い面積の部分はローラー・平バケなどを使うと、速く塗ることが
できます。●吸い込みが大きい下地には、1回目の塗膜が充分に乾いてから、2回塗
りをします。●マスキングテープは塗料が手につかなくなったらはがします。●表記の乾
燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡が残らない状態)の時間です。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供
が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。②残った塗料
は、しっかりとフタを閉め、直射日光や火気のある場所、容器がさびやす
いところを避けて保存して下さい。

警告

●引火性あり ●皮膚刺激 ●アレルギー性皮膚反応のおそれ
●臓器の障害のおそれ ●呼吸器への刺激のおそれ
●眠気やめまいのおそれ ●水生生物に非常に強い毒性

救急処置 ●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できる
だけ早く医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込
んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下
さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった
場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて
医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には
、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化の
あるときは、医師の診察を受けて下さい。

第2石油類/危険等級Ⅲ/火気厳禁/合成樹脂エナメル塗料(A-063)

取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②体
質の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は
使用しないで下さい。③火気のあるところでは塗らないで下さい。④溶剤蒸
気を吸入しないよう、目に入らないよう、皮膚に付着しないよう、また誤飲しな
いよう注意して取り扱って下さい。⑤有機溶剤が含まれているので、塗装
中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑥取り扱い中は必要に応じてマスク
や保護メガネ・保護手袋(塗料が浸み込まないもの)を着用し、皮膚に触れな
いようにして下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあ
ります。⑦塗料がついても支障のない服装で作業して下さい。⑧塗装は雨の
降りそうな日や湿度の高い日を選び、天気の良い日に塗って下さい。結露す
る時期には、午後3時までには塗り終えて下さい。⑨常に水の溜まるところには
適しません。シリコン系・フッ素系・その他の特殊防水処理をした面や、シーリ
ング材等の一部には、塗料が付着しないことがあります。⑩使用前に、容器よ
く振り動かして、塗料を均一の状態にして下さい。うすめる必要はありません
。そのままご使用下さい。⑪あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、
色・乾燥性・下地への影響・密着性等を確かめてから塗装して下さい。⑫屋根
を塗る場合は、降りるところが最後になるように、順序を考えて塗って下
さい。また、転落事故のないよう充分に注意して下さい。塗料が乾燥するま
では、たいへんすべりやすいので、塗膜の上を歩かないようにして下さい。⑬塗
り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより異なります。特に塗り
面積は、表面状態や吸い込みの違いにより大きく異なります。⑭吸い込みが
激しい場合には、繰り返し塗って下さい。⑮うすく塗りすぎると、うまく仕上
らない場合があります。⑯●本品は下塗り専用塗料ですので、必ずアサヒペン
水性屋根用遮熱塗料を上塗りして下さい。⑰●本品塗装後、夏期2時間以上、冬
期6時間以上おき、塗膜が充分乾いてから上塗りして下さい。⑱容器は塗料
を使い切ってから捨てて下さい。⑲やむをえず塗料を捨てるときは、新聞紙
などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑳塗料
を移し替える場合は、金属などの溶けない容器をご使用下さい。㉑容器を落
下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意 ①塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。
①塗る面の粉化(チョーキング)が著しいときは、サンドペーパー等で取り除き
水洗いをして後、水分を乾燥させてから塗って下さい。②コンクリートやモル
タルの劣化が激しく、手で触れて手に粉がついたり、ポロポロと取れるよう
な場合には、アサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン防水塗料をご使用下
さい。③新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経っ
てから塗って下さい。④トタン・カラートタンに塗る場合は、サビやハガレが
あった旧塗膜を落として下さい。(サビ止め塗料は下塗りしないで下さい。)

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、ペイントうすめ液で洗って下さい。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室
☎ 06-6934-0300
4 970925 437525 日本製 00-1401